

第4期石狩市障がい者計画 進捗状況評価報告書

令和3年12月作成

第4期障がい者計画進捗管理

【進捗状況】 A (目標どおり進行) B (やや遅れている) C (大幅に遅れている)

	計画掲載内容	実施主体	令和3年度の実施状況 (具体的にを行った施策、成果等)	評価	今後の進め方 (施策の展開)
I 共生のまち					
施策の方向1 障がいへの理解の促進					
①	障がいについて理解を深める機会を増やすとともに、障がい者団体の横のつながりを深め、様々な障がいへの理解につなげるイベントや講習会などの取り組みを進めます。	障がい者関係団体連絡会議	社会福祉大会でのパネル展示、障害者週間での交流もちつき大会などのイベントは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	-	継続して実施
		手話フェスタ実行委員会	手話の普及啓発や聞こえない人に対する理解を深めてもらうことを目的に、手話フェスタの開催を検討したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。	-	継続して実施
		「咲む」石狩市上映会実行委員会	手話の普及啓発や聞こえない人に対する理解を深めてもらうことを目的に、映画「咲む」上映会を開催する。 ・開催日 令和4年2月23日	A	継続して実施
②	石狩市社会福祉協議会と連携し、障がいのある人を支援するボランティア活動への支援を行います。	社会福祉協議会	ボランティア活動団体運営費助成金を交付し、活動の推進を支援した。 ・石狩朗読ボランティアの会 45,000円	A	継続して実施
		障がい福祉課	障がい者福祉団体補助金を交付し、活動の推進を支援した。 ・石狩大地の会 50,000円 ・特定非営利法人石狩聴力障害者協会 190,000円 ・石狩市身体障害者福祉協会 300,000円 ・石狩市視覚障がい者協会 30,000円 ・石狩ひまわり手輪の会 70,000円 ・手話サークル“ミズバショウ” 70,000円	A	継続して実施
③	障がい者団体や事業所、関係機関などと協力し、障がいのある人への必要な配慮について、『広報いしかり』などを活用した啓発活動に取り組みます。	障がい福祉課	広報いしかりを活用し、障がいのある人への必要な配慮について周知した。 ・4月号 世界自閉症啓発デー（ブルーリボンプロジェクト） ・11月号 マスクが着けられない方へのご理解を ・12月号 障害者週間（トラブルシューター）	A	継続して実施

第4期障がい者計画進捗管理

【進捗状況】 A (目標どおり進行) B (やや遅れている) C(大幅に遅れている)

	計画掲載内容	実施主体	令和3年度の実施状況 (具体的に行った施策、成果等)	評価	今後の進め方 (施策の展開)
④	ハード面のバリアフリーだけでなく、心のバリアフリーも同時に推進するために、ヘルプマークなど、障がいのある人への配慮に関する取り組みを周知します。	障がい福祉課	外見からは分からなくても援助や配慮を得やすくなる「ヘルプマーク」を障がい福祉課窓口で配布した。 ・年間100個程度	A	継続して実施
			【新規】呼吸器の疾患や感覚過敏、知的障がいなどの理由によりマスクの着用が難しい人のために、「マスクをつけられませんか」意思表示カードを作成し、周知を図った。 ・広報いしかり11月号掲載、市ホームページ掲載	A	継続して実施
施策の方向2 安全・安心な生活環境の整備					
①	バリアフリー新法、北海道福祉のまちづくり条例、石狩市福祉のまちづくり条例に基づき、ユニバーサルデザインを踏まえた施設整備を推進します。	建築住宅課	下記の施設について、障がいのある人が利用しやすいバリアフリー法対象建築物になるよう努めた。 ・ふれあいの杜子ども館 ・市営住宅花川東団地 ・摺鉢山会館	A	継続して実施
②	視覚障がいのある人の公共施設などへの安全な移動を確保するために、点字ブロックや誘導用マットなどの整備を推進します。	障がい福祉課 都市整備課	実績なし	C	関係団体等の要望に応じて整備を検討する。
③	施設の整備にあたっては、利用形態、障がい特性などを把握した上で、それらに配慮したトイレや駐車スペースなどの設置を推進します。	建築住宅課	下記の施設について、障がいのある人が利用しやすいバリアフリー法対象建築物になるよう努めた。 ・ふれあいの杜子ども館 ・市営住宅花川東団地 ・摺鉢山会館	A	継続して実施

第4期障がい者計画進捗管理		【進捗状況】 A (目標どおり進行) B (やや遅れている) C(大幅に遅れている)				
	計画掲載内容	実施主体	令和3年度の実施状況 (具体的に行った施策、成果等)	評価	今後の進め方 (施策の展開)	
Ⅱ 安心して心豊かに暮らせるまち						
施策の方向1 情報・コミュニケーション支援の充実						
重点的な取り組み	①	障がい特性に応じた利用しやすいコミュニケーション手段の環境を築き、障がいの有無にかかわらず理解し合えることを目的とした「情報・コミュニケーション条例」の制定に向けた取り組みを進めます。	障がい福祉課	【新規】情報・コミュニケーション条例の制定に向け、検討会の設置について検討を行った。	B	情報・コミュニケーション条例検討会を立ち上げ、令和8年度までに条例を制定するための議論を行う。
	②	障がいのある人に配慮した情報発信の充実を図るため、手話通訳や要約筆記、朗読ボランティアなどの人材育成に努めます。	障がい福祉課	聴覚に障がいがある人に対して、情報内容を文字にして伝える要約筆記の体験を通し、聴覚障がい者に関する福祉の理解を深めることを目的に体験講習会を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。	-	継続して実施
				手話を学び地域の聞こえない人と手話で日常会話ができるようになることを目的に初級手話講習会を開催した。 ・講義数 33回 ・参加者数 20名	A	継続して実施
	③	必要な情報をわかりやすく伝えるために、デザインや文字、色の使い方などを配慮し、誰にでも見やすい広報の仕方を推進します。	秘書広報課	『広報いしかり』には視覚に障がいのある人も含め、より多くの方が読みやすく、誤読されにくいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用し、情報提供を行った。	A	継続して実施
④	聴覚障がいのある人のコミュニケーション支援の手段として手話通訳の派遣や遠隔手話通訳、電話リレーサービスの周知・啓発を促進します。	障がい福祉課	聴覚など障がいにより意思疎通を図ることに支障がある人とその他の人との意思疎通を支援するために、手話通訳者または要約筆記者を派遣した。 ・手話通訳派遣(遠隔手話通訳、電話リレーサービス含む) 派遣件数 492件 ・要約筆記派遣 派遣件数 1件	A	継続して実施	

第4期障がい者計画進捗管理

【進捗状況】 A (目標どおり進行) B (やや遅れている) C (大幅に遅れている)

	計画掲載内容	実施主体	令和3年度の実施状況 (具体的に行った施策、成果等)	評価	今後の進め方 (施策の展開)
⑤	視覚障がいのある人のコミュニケーション支援の手段として、情報の音声化などの充実を図ります。	石狩朗読ボランティアの会	『広報いしかり』『社協ふれあい』『議会だより』『身体障害者新聞』等を音声データ化し、視覚障がい者に無償で提供した。	A	継続して実施
施策の方向2 災害に備えた対策の取り組み					
①	福祉避難所の指定、災害用物資の備蓄など、災害時の機能及び利便性向上に努めます。	福祉総務課	福祉避難所については下記の3か所を指定している。 ・総合保健福祉センターりんくる ・厚田学園 ・浜益高齢者生活福祉センター 災害用物資については下記のとおり備蓄をしている。 ・発電機、段ボールベッド、車いす等の備品 ・紙おむつ、マスク、消毒液等の生活・衛生用品 外	A	継続して実施
		障がい福祉課	オストメイトがストマを避難所に備蓄できるよう、福祉避難所等で保管事業を実施した。 ・保管件数 6件	A	継続して実施
②	災害時に円滑なコミュニケーションが図られるような取り組みを検討します。	障がい福祉課	災害時の情報伝達のため「災害時情報支援バンドナ」作成し、聞こえない人や手話のできる人に配布したほか、避難所備蓄品として保管した。 ・市内指定避難所40カ所に保管	A	継続して実施
③	防災訓練に障がいのある人の参加を促進し、訓練内容の充実を図ります。	危機対策課	令和1、2年度に実施した花川南第二町内会との協働事業「減災福祉型まち歩きによる要配慮者の減災力向上事業」の延長で、要配慮者参加による防災訓練が実施されました。	A	継続して実施
④	避難行動要支援者名簿を整備するとともに、関係機関と連携し、災害時の安否確認や避難誘導などを円滑にするために、制度や支援体制のしくみについての啓発に努めます。	危機対策課	避難行動要支援者名簿を更新し、各町内会・自治会長、民生委員等へ提供した。 ・令和3年度名簿提供者 2,854名 (うち、障がいのある人 555名)	A	継続して実施

第4期障がい者計画進捗管理						
【進捗状況】 A (目標どおり進行) B (やや遅れている) C(大幅に遅れている)						
	計画掲載内容	実施主体	令和3年度の実施状況 (具体的に行った施策、成果等)	評価	今後の進め方 (施策の展開)	
	⑤	災害発生時において、市が発令する避難情報が災害時避難行動要支援者に確実に伝達されるよう配慮します。	危機対策課	新たな情報伝達手段として「LINE」による情報伝達を開始した。	B	情報伝達の手段、方法については今後も検討していく。
施策の方向3 感染症等に対応した支援の充実						
重点的な取り組み	①	必要な障害福祉サービスを維持するため、感染防止に向けた留意点の周知やその対策を講じるにあたり必要な物品などの確保に努めます。	障がい福祉課	市内障がい福祉サービス事業所等が感染防止対策に必要な物品等を購入するための費用に対し、交付金を交付した。 ・障がい福祉施設サービス提供体制構築支援事業 交付対象事業所数 72件	A	継続して実施
	②	感染症などに関わる情報を障がいのある人にわかりやすく伝えるなど、情報発信などにあたって十分配慮します。	障がい福祉課	「新型コロナワクチン接種のお知らせ」等、ルビや分かりやすい用語を使用して、基礎疾患の対象となる方への周知を図った。	A	継続して実施
	③	感染症などへの対応が長期化することに伴い、障がいがあることで心身に不調が生じる方のために、相談体制の整備をします。	障がい福祉課	新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の解除後、活動再開に伴う相談が増加したが、相談体制に支障をきたすことなく、適切な支援が行われた。 ・石狩市相談支援センターぷろっぷ 延べ5,064件（令和3年4月～9月） ・相談室ヨルド 延べ1,698件（令和3年4月～9月）	A	継続して実施
	④	タブレット端末の活用による遠隔手話通訳の実施など、感染リスクを回避した意思疎通支援体制を整備します。	障がい福祉課	聞こえない人が医療機関や金融機関等へ外出する際、新型コロナウイルス感染防止対策のため手話通訳者の同行が困難な場合に、遠隔手話通訳を利用できるようタブレットパソコンを整備した。 ・設置場所 13カ所 ・貸出件数 11件（令和3年4月～9月）	A	継続して実施
	⑤	新型コロナウイルス感染症などによる新しい生活様式への対応として、オンライン会議やオンライン研修などの取り組みを推奨します。	地域自立支援協議会	新型コロナウイルス感染防止対策のため、会議や研修を集合やオンラインを併用したハイブリット形式で開催した。	A	継続して実施

第4期障がい者計画進捗管理

【進捗状況】 A (目標どおり進行) B (やや遅れている) C (大幅に遅れている)

	計画掲載内容	実施主体	令和3年度の実施状況 (具体的に行った施策、成果等)	評価	今後の進め方 (施策の展開)
施策の方向4 権利擁護体制の充実 (成年後見制度などの活用促進について)					
①	障がいのある人がトラブルに巻き込まれないよう、弁護士などをはじめ関係機関が連携し、被害者とならない取り組みを実施します。	地域自立支援協議会	障がいの特性を理解し、当事者と周りの方とのトラブルを未然に防ぐことを目的とした「トラブルシューター」の活動について、支援者向け学習会を開催した。 ・開催日 令和3年12月8日 参加人数 29人	A	R4年1月開催の地域自立支援協議会において、次年度以降の方向性を決定する。
		障がい福祉課	障がいの特性を理解し、当事者と周りの方とのトラブルを未然に防ぐことを目的とした「トラブルシューター」の紹介や取り組みなどについて、広報に掲載し周知を図った。 ・広報いしかり12月号掲載	A	継続して実施
	②	成年後見制度の利用促進のために、地域の専門職団体で構成する地域連携ネットワークや、コーディネートを行う中核機関の整備に向けて検討を進めます。	障がい福祉課	成年後見制度利用促進計画に基づいて、中核機関のあり方及び地域連携ネットワーク体制の構築について検討した。	A
③	知的障がいや精神障がいにより意思決定の困難な人が財産管理や計画などで不利益にならないよう、成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用を促進します。	障がい福祉課	成年後見センターを設置し、相談体制の構築を図った。 ・相談実績 (令和3年4月～10月) 知的障がい者 293人、精神障がい者 467人	A	継続して実施
施策の方向4 権利擁護体制の充実 (障がい者虐待の防止について)					
①	障がい者虐待防止対策の体制の充実を図るとともに、障がい者虐待通報の受理、虐待を受けた障がいのある人の保護など、関係機関との連携強化に努めます。	障がい福祉課	8050問題など多様化する虐待事案について、庁内関連部署や地域包括支援センター、警察などの関係機関と連携し解決を図った。 ・相談件数 (令和3年4月～9月) 4件	A	継続して実施

第4期障がい者計画進捗管理

【進捗状況】 A（目標どおり進行） B（やや遅れている） C（大幅に遅れている）

	計画掲載内容	実施主体	令和3年度の実施状況 (具体的にを行った施策、成果等)	評価	今後の進め方 (施策の展開)
施策の方向4 権利擁護体制の充実（障害者差別解消法について）					
	① 「障害者差別解消法」、「北海道障がい者条例」に基づく取り組みを推進し、障がいを理由とする差別解消に向けたイベントや研修会などを実施します。	障がい福祉課	新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。	-	今後はオンライン研修会の実施などを検討。
	② パンフレットの発行や『広報いしかり』を活用した広報啓発活動に取り組みます。	障がい福祉課	障害者差別解消法を周知するパンフレットを作成し、市内事業所に配布した。 ・配布枚数 1,300枚	A	継続して実施
施策の方向5 親なき後支援の充実					
重点的な取り組み	① 8050問題をはじめとする社会背景により、複雑化した生活課題を抱える障がいのある人の事例が発生してきており、早期発見・早期対応のしくみづくりを進めます。	障がい福祉課	8050問題にかかる相談や支援が増える中、関係機関との情報共有や連携を強化し、支援につなげた。	B	早期発見・早期対応のしくみづくりを検討する。
	② 障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくため様々な支援を切れ目なく提供する機能をもつ地域生活支援拠点等の整備を検討します。	障がい福祉課	実績なし	C	地域資源を活用したしくみづくりを検討する。

第4期障がい者計画進捗管理

【進捗状況】 A (目標どおり進行) B (やや遅れている) C (大幅に遅れている)

	計画掲載内容	実施主体	令和3年度の実施状況 (具体的に行った施策、成果等)	評価	今後の進め方 (施策の展開)
--	--------	------	-------------------------------	----	-------------------

Ⅲ 子育てしやすいまち

施策の方向1 障がいや発達に配慮が必要な子どもの支援の充実

重点的な取り組み	①	市町村中核子ども発達支援センターを設置し、発達の遅れや障がいのある子どもと家族に対し、適切な相談指導や療育を受けるための支援を図ります。	子ども発達支援センター	児童発達支援センターと同じ機能を持つ市町村中核子ども発達支援センターの設置に向け、児童発達支援、保育所等訪問支援、障害児相談支援を実施するほか、地域の連携体制や発達支援体制の強化を図った。	B	令和5年度までに市町村中核子ども発達支援センターを設置する。
	②	乳幼児健康診査や保健相談などにおいて、障がいや疾病の早期発見だけではなく、保護者の子育て支援を行うなど、乳幼児の健やかな発育・発達を図ります。	保健推進課	乳幼児健診等で発達すくすく相談を実施した。 ・相談件数(令和3年4月~10月) 延べ41人	A	継続して実施
	③	各種健康診査や保健相談などでの困りごとについて、必要に応じて医療、福祉などの関係機関と円滑な連携を図り、その問題解決に向けた対応を行うなど、ライフステージにおいて切れ目のない支援を図ります。	障がい福祉課	保護者と支援機関の情報共有を促すための「サポートブック」を作成し、下記の機関を通して対象者に配布した。 ・子ども発達支援センター ・教育支援課(小中学校の特別支援学級)	A	継続して実施
	④	保健、医療、教育、保育、福祉などの関係機関との協議の場を設置し、医療的ケアを必要とする障がいのある子どもと家族への支援を図ります。	障がい福祉課	実績なし	C	必要に応じて対象者に関わる保健師や事業所・学校等の担当者が協議するケース会議を開催する。

第4期障がい者計画進捗管理

【進捗状況】 A（目標どおり進行） B（やや遅れている） C（大幅に遅れている）

	計画掲載内容	実施主体	令和3年度の実施状況 (具体的に行った施策、成果等)	評価	今後の進め方 (施策の展開)
施策の方向2 障がいのある子どもがいる家族の支援の充実					
①	障がいのある子どもを育てた経験のある保護者（ペアレントメンター）が相談相手となり、障がいのある子どもがいる家族を支援します。	子ども発達支援センター	ペアレントメンターの資格を持つ職員が、子育てに不安を持つ保護者の相談に応じた。 ・相談実績（実人数） 2人	A	継続して実施
施策の方向3 障がいのある子どもに対する教育の充実					
①	特別な支援を必要とする子どもを対象に、就学前からの教育相談を実施するなど、関係機関と連携しながら早期からの切れ目のない支援を行います。	教育支援課	就学児教育相談を実施し、関係機関との連携を図った。 ・相談人数（令和3年度入学予定児童） 58人	A	継続して実施
②	一人ひとりのニーズに合わせて、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成し、将来の自立と社会参加に向けた、きめ細やかな支援を推進します。	教育支援課	「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」について、市内の学校で作成し活用した。 ・特別支援学級在籍児童生徒数 135人（R3.5.1現在）	A	継続して実施
③	切れ目のない一貫した教育支援を行うため、関係機関との連携強化を図ります。	教育支援課	就学前の教育相談、学校巡回訪問、関係機関との連携により実態把握を行い、早期発見ときめ細やかな支援を行った。 ・就学児教育相談人数（令和3年度入学予定児童） 58名 ・在席児童生徒協議人数（令和2年度） 32名 ・在席児童生徒報告人数（令和2年度） 60名	A	継続して実施
④	高い専門性に基づく特別支援教育を推進するため、教職員研修や講習会の充実を図ります。	教育支援課	特別支援教育支援員の養成 ・受講者数（支援ボランティア） 33人	A	継続して実施

第4期障がい者計画進捗管理 【進捗状況】 A (目標どおり進行) B (やや遅れている) C(大幅に遅れている)

	計画掲載内容	実施主体	令和3年度の実施状況 (具体的に行った施策、成果等)	評価	今後の進め方 (施策の展開)
--	--------	------	-------------------------------	----	-------------------

Ⅳ 自分らしく生き生きと生活できるまち

施策の方向1 相談支援体制の充実

①	障がいのある人やその家族が、気軽に安心してサービス利用や生活上の悩みなどを相談できるよう「石狩市相談支援センター」などにおける相談体制の充実に努めます。	障がい福祉課	緊急事態宣言解除後の活動再開に伴う相談数の増加においても、適切な相談支援に努めることができた。 ・石狩市相談支援センターぷろっぷ 延べ5,064件（令和3年4月～9月） ・相談室ヨルド 延べ1,698件（令和3年4月～9月） ・相談室ゆう 403件（令和3年4月～9月）	A	継続して実施
②	障害福祉サービスの利用支援や継続利用支援に関する相談と援助計画の作成を行う「計画相談支援」の体制強化に向けて方策を検討し、その整備に努めます。	障がい福祉課	相談支援の利用実績が増える中、専門員の確保等を行い、計画相談支援の体制強化が図られるよう検討を行った。 ・障害福祉サービス 548人（令和3年10月） （うち計画相談支援185人、33.8%） ・障害児通所支援 331人（令和3年10月） （うち障害児相談支援 218人、65.9%）	C	研修費の一部を助成する制度を検討する。

施策の方向2 地域で生活するために必要なサービスの充実

①	障がいのある人やその家族のニーズに対応できる短期入所サービス事業所の充実を図ります。	障がい福祉課	市内の短期入所サービス事業所 6か所 ・利用実績（令和3年10月） 延べ184日	A	継続して実施
②	ニーズに即した地域での生活を支援するために、共同生活援助などの充実を図ります。	障がい福祉課	市内の共同生活援助サービス事業所 5か所 ・利用実績（令和3年10月） 利用者数136人	A	継続して実施
③	障がいのある人の在宅生活を支援するために、補装具や日常生活用具の給付を実施します。	障がい福祉課	・補装具利用実績（令和3年4月～10月） 98件 ・日常生活用具利用実績（令和3年4月～10月） 291件	A	利用者や障がい者関係団体からの要望等を踏まえ、対象品目の充実を図る。
④	重度身体障がいのある人への訪問入浴サービスを実施します。	障がい福祉課	自力又は家族のみでは入浴が困難な方に対して、訪問入浴サービスを実施した。 ・利用実績（令和3年4月～10月） 利用者数1人	A	継続して実施

第4期障がい者計画進捗管理

【進捗状況】 A (目標どおり進行) B (やや遅れている) C (大幅に遅れている)

	計画掲載内容	実施主体	令和3年度の実施状況 (具体的に行った施策、成果等)	評価	今後の進め方 (施策の展開)
施策の方向3 就労支援と雇用促進					
①	障がいのある人が、就労系障害福祉サービス事業所に通う際の交通費助成制度を検討します。	障がい福祉課	【新規】通所交通費助成制度を新設し、就労移行支援、就労継続支援A型・B型の利用者の通所にかかる割引適用外の区間の交通費の半額を助成した。 ・利用実績(令和3年4月～10月) 利用者数18人	A	継続して実施
②	障がいのある人が継続して就労できるように、就労定着支援終了後のフォローアップを推進していきます。	障がい福祉課	【新規】就労定着支援終了後も同様の支援が受けられるよう制度を新設した。 ・利用実績(令和3年10月) 利用者数3人	A	継続して実施
③	障がいのある人の就労意識の動機づけとして効果があるインターンシップによる職業体験についての受け入れを推進していきます。	障がい福祉課	高等支援学校等からの要望に応じて、インターンシップによる職業体験の受け入れを行っているが、新型コロナウイルス等にかかる理由で受け入れを実施することができなかった。	-	継続して実施
④	障害者優先調達推進法に基づき、福祉施設からの製品購入について調達方針を作成し目標を定め、毎年実績を公表します。	障がい福祉課	障害者優先調達法に基づく方針を策定し、優先購入の推進を実施した(目標金額100万円) 【参考】令和2年度の購入実績 23万円	A	継続して実施
⑤	障がい者就労施設などで作られた製品について、市のイベントなどで積極的な活用や販売を継続し、障がいのある人の工賃向上への取り組みを支援します。	障がい福祉課	イベント等は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	-	継続して実施

第4期障がい者計画進捗管理

【進捗状況】 A (目標どおり進行) B (やや遅れている) C (大幅に遅れている)

	計画掲載内容	実施主体	令和3年度の実施状況 (具体的にを行った施策、成果等)	評価	今後の進め方 (施策の展開)
施策の方向4 保健・医療の充実					
重点的な取り組み	①	地域自立支援協議会	主に精神障がいのある方と家族を対象とした「メリデン版訪問家族支援」の活動について、支援者向け学習会を開催した。 ・開催日 令和3年12月6日 参加人数 55人	A	R4年1月開催の地域自立支援協議会において、次年度以降の方向性を決定する。
		障がい福祉課	精神障がいのある人が病院から退院し、地域で生活することを希望する場合の「地域移行支援」や「地域定着支援」に対する相談体制を推進した。 ・利用実績(令和3年4月～10月) 地域移行支援 1人 地域定着支援 0人	B	継続して実施
	②	保健推進課	乳幼児健診等で発達すくすく相談を実施した。 ・相談件数(令和3年4月～10月) 延べ41人	A	継続して実施
	③	障がい福祉課	保護者と支援機関の情報共有を促すための「サポートブック」を作成し、下記の機関を通して対象者に配布した。 ・子ども発達支援センター ・教育支援課(小中学校の特別支援学級)	A	継続して実施
④	障がい福祉課	実績なし	C	必要に応じて対象者に関わる保健師や事業所・学校等の担当者が協議するケース会議を開催する。	

第4期障がい者計画進捗管理

【進捗状況】 A (目標どおり進行) B (やや遅れている) C(大幅に遅れている)

	計画掲載内容	実施主体	令和3年度の実施状況 (具体的に行った施策、成果等)	評価	今後の進め方 (施策の展開)
施策の方向5 社会参加の充実					
①	障がいのある人の外出の機会を増やすため、福祉タクシー利用券交付制度を実施します。	障がい福祉課	重度の障がいのため、公共交通機関の利用が困難な人の負担軽減を図るため、福祉タクシー利用券を交付した。 ・交付実績(令和3年4月~10月) 1,135人	A	継続して実施
②	地域活動支援センターを利用する精神障がいのある人に対する支援のため、通所に伴う交通費助成事業を推進します。	障がい福祉課	地域活動センターに通所する交通費の一部を助成した。 ・利用実績(令和3年4月~10月) 67人	A	継続して実施
③	障がいのある人が、社会生活や社会参加のために利用する移動支援事業を推進します。	障がい福祉課	移動支援サービスを実施した。 ・利用実績(令和3年4月~10月) 延べ182件	A	継続して実施
④	公共交通機関料金割引制度の拡充に向けた働きかけを推進します。	障がい福祉課	実績なし	C	精神障がいのある人の公共交通機関の割引制度の対象拡大について、事業者に要請を行う。
⑤	障がいのある人が日中活動を利用して地域での社会参加ができるよう、日中活動の場の充実を図ります。	障がい福祉課	地域活動支援センターを運営している団体に対して交付金を交付した。 ・令和3年度 交付実績 30,000千円(4か所)	A	継続して実施
⑥	障がいのある人やその家族がピア(仲間)として障がいのある人からの相談を受け、問題解決につながる助言を行うピアサポーターの養成や活動などを支援します。	障がい福祉課	実績なし	C	他市町村の取り組み状況を参考にしながら、養成や活動支援について検討を行う。
⑦	障がいの有無にかかわらず、ともにふれあい、学べるような内容を考慮したイベントや講演会などを実施します。	石狩手話フェスタ実行委員会	手話の普及啓発や聞こえない人に対する理解を深めてもらうことを目的に、手話フェスタの開催を検討したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。	-	継続して実施

第4期障がい者計画進捗管理

【進捗状況】 A (目標どおり進行) B (やや遅れている) C(大幅に遅れている)

	計画掲載内容	実施主体	令和3年度の実施状況 (具体的に行った施策、成果等)	評価	今後の進め方 (施策の展開)
	⑧ 障がいのある人の健康保持・増進を図るため、各関係機関と連携し、気軽に参加できるスポーツ活動を支援します。	カローリング実行委員会	市内の障がい団体の交流を目的に、カローリング交流大会の開催を検討したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。	-	継続して実施
	⑨ 障がいのある人が積極的に文化・芸術活動を行えるよう、活動や創作作品の展示の場の確保に努めるなど、活動を支援します。	障がい福祉課	イベント等は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	-	継続して実施
施策の方向6 人材の育成・確保					
	① 障がいのある人に必要なサービスを提供するため、人材確保と職場定着について取り組みます。	障がい福祉課	厚田区・浜益区の障害福祉サービス事業所の新規就労者に対し、事業所を通じて福祉施設人材確保事業助成金を交付し、人材の確保を図った。 ・交付対象人数(令和3年4月～10月) 4人	A	継続して実施
重点的な取組	② 事業所の職員が、障がいのある人への支援に関する専門的技術を習得するための研修へ参加するための支援を実施します。	障がい福祉課	事業所職員が専門的技術を習得するための研修費の一部を補助する制度を検討した。	C	補助制度制定に向け、引き続き検討を行う。
	③ 小学校・中学校・高等学校の児童・生徒が障害福祉サービス事業所での体験の機会を設けるなど、障がい福祉分野の人材育成につながる取り組みを実施します。	障がい福祉課	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	-	継続して実施
	④ 市職員に対して、障がいのある人に関する理解を促進するための必要な研修を実施し、窓口などにおける障がいのある人への配慮を周知します。	行政管理課	・新任職員研修時に「手話基本条例」と「障害者差別解消法」についての講座を実施した。	A	継続して実施
		障がい福祉課	・障害者差別解消法に関する市職員向けに策定された障がいのある人への対応要領及び職員対応マニュアルについて、全職員に周知を行った。 ・石狩市職員のための手話研修会(初級)(フォローアップ)の実施については令和4年2月開催予定。	A	継続して実施